

令和 7 年度 年末年始における 県内の主な温泉地及びスキー場の観光客数の状況について

1 調査期間

令和 7 年 1 2 月 2 7 日（土）から令和 8 年 1 月 4 日（日）まで（9 日間）

2 結果概要

（1）県内主要温泉地宿泊者数

	令和 7 年度			令和 6 年度
	宿泊者数	1 日平均	前年度比	1 日平均
草津温泉	60,187 人	6,687 人	108.0%	6,191 人
水上温泉郷	47,029 人	5,225 人	102.0%	5,125 人
伊香保温泉	42,064 人	4,674 人	101.1%	4,622 人
四万温泉	11,129 人	1,237 人	102.0%	1,213 人
老神温泉	6,129 人	681 人	97.1%	701 人
猿ヶ京温泉	4,790 人	532 人	98.3%	542 人
磯部温泉	3,862 人	429 人	120.1%	357 人
計	175,190 人	19,466 人	103.8%	18,750 人

（2）県内スキー場地区別利用者数

	令和 7 年度			令和 6 年度
	利用者数	1 日平均	前年度比	1 日平均
片品地区	76,488 人	8,499 人	88.6%	9,590 人
吾妻地区	53,149 人	5,905 人	95.9%	6,158 人
水上地区	52,742 人	5,860 人	88.9%	6,590 人
その他地区（※）	46,489 人	5,165 人	111.5%	4,634 人
計	228,868 人	25,430 人	94.3%	26,972 人

※その他地区＝沼田市・川場村

3 概況

（1）県内の主な温泉地の宿泊状況について（温泉地等への聞き取りによる）

- ・天候に恵まれたことや、年末年始の長期連休が取りやすい日程であったことが影響し、前年度比 103.8%となった。

（2）県内スキー場利用状況について（スキー場への聞き取りによる）

- ・晴天が続いた一方で、降雪が少ない地区もあり、その影響で一部スキー場では滑走可能なコース数が限られ、前年度比 94.3%となった。

※本調査は、対象市町村、観光協会等が温泉地の宿泊者数及びスキー場利用者数を調査し、県及び県観光物産国際協会が集計したものです。